



伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

令和2年9月1日発行

第11号



全国大会で思い切り頑張れ！（器楽、女子ソフトテニス、水泳、少林寺拳法、軽音楽、男子ソフトボール、ダンス 激励会）



野球部、感動をありがとう！（左：激励会 右：感謝の会）

箏の寄贈（西村文子さん：高1回）

学校創立 1911年（明治44年）創立109年目

卒業生総数 26,735名 令和2年3月末現在（伊那高等女学校等5,088名・伊那那弥生ヶ丘高等学校21,647名）



ご挨拶

同窓会長 下島 典子

会員の皆様、お元気でいらっしゃいますか。新型コロナウイルスが猛威を奮い、世界中が予想もしなかった状況になっています。同窓会総会も開催がかなわぬまま新年度がスタートいたしました。

思えば、令和元年度は母校にとりましてとても印象深い年になりました。

夏の高校野球県大会では、ベスト8、ベスト4と勝ち進み決勝戦を戦うことができ、母校のみならず、上伊那全体を興奮の渦に巻き込んでくれました。選手、応援部員、マネージャー、指導者、吹奏楽部、生徒、保護者会、後援会、OB会、教職員、PTA、同窓生、応援してく

ださったすべての皆さんが一つになれたあの歓喜と、そして惜敗して流した無念の涙、「よくやった！」という感動は語り草となり、いつまでも心に残る素晴らしい思い出になることと思います。

皆様、学校の音楽会をお聴きになられたことはございますか？指揮者を中心にクラスが一つになって歌う姿と歌声は心が震えるものでした。

クラブ活動もスポーツや軽音楽部などが全国大会への出場を果たしました。2月、3月に予定されていた大会が中止になってしまったことは大変残念なことでした。メディアで話題になったロックグループ「King Gnu」や「フェイス」でも後輩が活躍しています。

さまざまな方面で同窓生が輝いている姿を見られるのは嬉しいものですね。

また昨年は素晴らしいプレゼントをいただきました。高校1回生の西村文子さん（旧姓 古河原）は北海道の苫小牧にお住まいですが、長い間開いていらしたお琴の教室を閉じられ、たくさんのお琴をどうしようかと考えていらしたそうです。

同窓会報と共に届いた「H30年度同窓会よりいただきました」というカラーチラシをご覧になり、母校に贈ろうと思ってくださったのです。10月の台風のあと、息子さんの車に9面のお琴をつんで本校までわざわざ

届けてくださいました。

キリッとしたスーツ姿でクラブ員と並ぶ姿を新聞で見ました。母校を応援してくださる温かい想いにあらためて弥生ヶ丘の校風を感じました。

高校再編については何年越しかで話題になっておりましたが、3月に県教委から「弥生ヶ丘」と「伊那北」の統合案が示されました。歴史ある「弥生ヶ丘」が幕を引くことになるとは考えもしないことでしたが、いた仕方ないと思うしかありません。

少子化、教育方法など考慮を重ねた上での統合であり、

吸収合併ではなく、全く新しい学校を創りあげるという計画です。

今後検討を重ねて新しい風の吹く、新時代の素晴らしい学校の誕生を願ってやみません。

コロナの影響で例年のような卒業式、入学式が行われないまま、令和2年度が始まりました。新学期が始まったとはいえ登校できず、今まで当たり前と思っていた学校生活ができない日々は、生徒さん、先生方、保護者の皆さんの思いはいかばかりかと思えます。

「子供たちの声がしない学校はさみしいです」とおっしゃった校長先生の言葉が胸に残りました。

今、この状況の中で同窓会として何かできることはないか、校長先生にお聞きしたところ、遠隔会議システム「Zoom（ズーム）」の教育向けサービス「エデュケーションライセンス」の導入ができれば、というお話でした。一刻も早く活用できるよう同窓会から贈らせていただきました。

5月8日、3年生を対象に個人面談の様子を見学させていただきました。担任の先生と一対一で顔を見ながらお話しできることに意義を感じました。

今までの無料サービスでは40分間で100人までという制限があったそうですが、今回のライセンス導入で利用時間の制限はなくなり、300人の参加も可能になったと



写真提供：有限会社北条印刷

のことです。「55分授業や総合的な探究の時間など、可能な使い方は多岐にわたる」と、先生方も喜んでくださいました。

また、6月からの本格的な授業再開に向けて、飛沫防止のためのフェイスシールド、併せてマスクやフェイスシールドをつけても先生方の声が聞き取りやすくなるようにポータブル拡声器も寄贈し、活用していただくようにいたしました。

何よりもコロナの終息が待たれますが、どうなっていくのか先が見えない今、生徒さんたちのより良い学びの

ために、同窓会としてできることを考えていきたいと思えます。

毎年皆様からいただく同窓会費から教育活動支援をさせていただいておりますが、今回その一環として導入させていただき、早速活用されることを目の当たりにして、改めて会費を納入してくださる同窓生の皆様に感謝しております。

ありがとうございました。

総会が開催できないことは前代未聞のことでした。

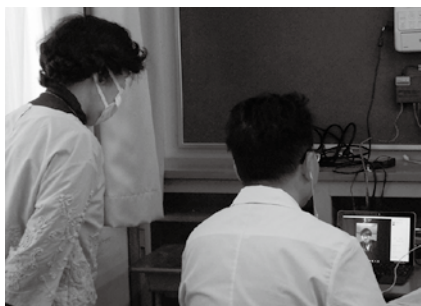
懇親会を運営して下さるはずであった当番学年の方々、弥生展や講演会に関係する皆様、協力して下さる在校生の皆様にもお詫び申し上げます。

懇親会の当番学年の方々（31回生、41回生）は、それはそれは盛り上がり、さまざまな計画を立ててくださっておいりましたので、きっと出席者も多く、楽しい宴になるであろうと期待は膨らんでおいりました。

いつか何らかの形で同年会などができますよう祈っております。

どうか来年度はおだやかな状況になっていますことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

皆様、ご自愛くださりコロナを乗り越ってくださいますように。



遠隔会議システムZoomの活用



理事会での座談会



当番生役員の皆様

令和2年度役員組織

会 長		顧 問	
下島 典子		学 校 長 平澤 裕二	事 務 長 吉澤 淳
		教 頭 藤澤 幹彦	同窓会担当職員 向山 昇治
			// 常田真由美
副 会 長		理 事 (支部長)	
鈴木のり子	西原 功		
常 任 理 事			
組織委員会		坂 下 滝沢 宏枝	三 義 北原 房子
○木下久美子	丸山 紀子	荒 井 原 静江	長 谷 宮下恵美子
安積 順子		西 町 池田喜美子	宮 田 井ノ口かよ子
教養文化委員会		中 央 有賀喜志子	赤 穂 菅沼恵美子
○広瀬夏葉子	小松 正芳	山 寺 福沢さゆり	東 伊 那 福澤 美恵
守屋あつ子	百瀬 哲也	御 園 滝 治子	中 沢 宮脇 陽子
酒井裕美子	伊藤 圭子	日 北原 友子	飯 島 片桐 文子
広報委員会		上 の 影 中村 栄	中 川 桃沢 公子
○中村 繫子	金沢千佳子	伊 那 東 南 馬場 規生	南 箕輪北部 堀 千恵子
河井 啓子		伊 那 東 北 宮原 和彦	南 箕輪南部 鹿角 幸子
高校再編・統合検討委員会		美 原 御子柴範子	箕 輪 下 小島ゆかり
○守屋あつ子	広瀬夏葉子	伊 那 西 部 網野 喜彦	木 松 島 原 健児
中村 繫子	百瀬 哲也	美 手 篤 松枝美千枝	箕 輪 北 部 増澤 優子
木下久美子	伊藤 圭子	東 春 近 飯島 深雪	箕 輪 西 部 唐澤 房代
安積 順子		西 春 近 倉田みきえ	東 箕 輪 青柳 喜美
監 事		富 近 中村 幸子	辰 宮 野 宮澤 敏子
小林 耐子	原 紀子	新 山 武井 仁美	宮 木 長田 千穂
幹 事		西 箕 輪 遠 橋本 博子	辰 野 北 部 村上 律子
各卒業学年のクラス代表		高 藤 沢 伊藤千恵美	辰 野 南 部 赤羽 美穂
事 務 局		河 長 丸山いづみ	小 東 京 奥村 桂子
田中真奈美		藤 北原 卓	

<敬称略>



ご挨拶

学校長 平澤 裕二

同窓会の皆様方には、日頃より母校の教育活動充実のために様々なご支援をいただいております。厚く御礼申し上げます。

4月7日に新入生205名を迎え今年度のスタートを切った3日後、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全県一斉の休校になりました。以後、約2か月休校が続いたわけですが、本校では生徒の学びを継続するために紙ベースの課題のほか、オンライン授業に積極的に取り組んできました。中でも、Web会議システムを使ったライブ配信型の授業には、双方向型の授業展開が可能という利点があります。そこで同窓会にお願いしてZoomのライセンス権を取得し、人数や時間の制限なく利用できる環境を整えていただきました。お陰さまで休校中も教科授業のほか、学年集会や個人面談などで有効活用することができました。学校再開後も、3密防止の観点から体育館等に全校が集まることができないため、全校集会や

学年集会のほか、7月には2学年の総合的な探究の時間で、様々な分野で活躍する大勢の講師の方々とZoomで繋ぎ、「YAYOI×地域×Zoom」と題する対談を行いました。

6月からは休校が明けて通常の登校が始まり、教室では対面授業、放課後は部活動も行われるようになり、学校に活気が戻ってきました。授業では生徒も職員もマスクを着用しているため、多くの職員が同窓会から寄贈された無線ポータブル拡声器を使わせていただいています。学校が元の状態に戻るにはまだ時間がかかりそうですが、ウィズ・コロナの時代に適応した「新しい学校生活様式」、対面での学びとオンラインでの学びを融合したハイブリッド型の学びを追究していこうと考えています。

末筆ながら、同窓会の皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも母校への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学

校だより



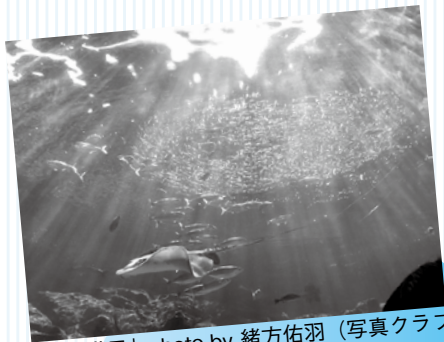
母校は「自主自立」「文武両道」の精神を掲げた歴史と伝統を重ね、本年度、創立109年目となり、1年生5クラス、2、3年生は各6クラス、合計687名の生徒が学んでいます。各々が進路に向けた授業を選択し、将来の夢や目標を見据えて取り組んでいます。

卒業生の進路状況 (令和2年3月)

令和2年3月、235名の卒業生がそれぞれ新しい道へと羽ばたいていきました。新型コロナウイルスの影響により、教職員と卒業生だけの静かな式でしたが、見送られる温かな拍手のもと、想い出のたくさん詰まった学び舎を後にしました。

	進 学						計	就 職		計	その他 予備校等	合計
	国公立大	私 立 大	国公立短大	私立短大	医療専門	他 専 門		公務員	民 間			
男	17	65	0	1	3	11	97	0	1	1	14	112
女	25	64	3	4	9	7	112	1	5	6	5	123
計	42	129	3	5	12	18	209	1	6	7	19	235
合格延数	44	322	4	13	19	20	422	1	6	7		429

- センター試験には約9割の生徒が受験し、うち100名程度が国公立大学で必要となる5教科7科目での受験スタイルとなっている。また、センター試験を利用しない公募型推薦での合格者もあり、その多くは県内を中心とした公立大学が多い。AO入試については近年合格を果たせていない。
- 私立大学に関しては、定数の厳格化があり、ここ数年合格者の絞り込みが行われている。昨年度は全国的に慎重な受験生が多数を占め、中堅クラス以下の大学に受験生が集中したこともあり、厳しい状況がみられた。
- 幼児教育や保育、看護といった「資格」をめざしての進学、自宅から通学可能な地元の短大への進学、また、4年制大学への編入を見据えた短大進学も一つの流れとして定着している。



「海の世界」photo by 緒方佑羽 (写真クラブ長)



新型コロナウイルスの影響で今年は高校総体や各種大会、文化的行事も次々に中止となりました。高校生活最後の年のクラブ活動も多く制限の中で活動してきました。発表の場が少なくなってしまう3年生のステージをこのページに作りました。各クラブの様子を紹介していきます。



藤井聡太に続け！（囲碁将棋クラブ）

クラブ活動より

クラブ紹介

ソフトボール(男子)

楽しく部活動をできたのは1、2年生のおかげです。全国めざしてがんばれ！

ソフトボール(女子)

この3年間は決して平らな道ではなかったけど、みんながいてくれて良かった。

バスケットボール(男子)

3年生は最後の大会がなくなってしまったけど、後輩のみんな、頑張ってください！

バスケットボール(女子)

笑いが絶えない女バスが大好き♡今までありがとう。明るく、謙虚に、前向きに。

バレーボール(男子)

ボールをつないでラリーを楽しめ！努力し続けることの大切さを学べた。

バレーボール(女子)

最高な仲間、もっと最高の向山先生に出会えたことが一生の宝物です。

卓球(男子)

後輩たちに感謝の気持ちを忘れず、応援されるような部活になってほしいです。

卓球(女子)

卓球部での3年間は充実した楽しい時間でした。1、2年生、部活を楽しんで！

ソフトテニス(男子)

練習では厳しい言葉を、試合は励まし合い、同じ気持ちで挑む。仲間とテニスができることを楽しんでください。

ソフトテニス(女子)

テニスを楽しみながらお互いを高め合える部活でした。今までありがとう！

硬式テニス(男子)

テニスも勉強も悔いなく取り組み、人生を楽しんで生きていきましょう。

硬式テニス(女子)

どこよりもにぎやかで、元気すぎる楽しい部活でした。ありがとう！

バドミントン(男子)

3年間を通して最高の仲間に出会えてよかったです。仲間へ感謝です。

バドミントン(女子)

一緒に戦ってくれて、笑ってくれて、ありがとう！女バド大好きです！

水泳(男女)

高体連などの大会では、北信越、インターハイを目指して頑張ってください。

陸上(男女)

～大切なこと～
1.本質を正確に捉える
2.効率が良い努力
3.笑顔で楽しく！

弓道(男女)

自分たち3年は、いい後輩、顧問に恵まれました。本当にありがとうございました。

剣道(男女)

最後の大会がなくなり、とても悔しいですが、仲間と一緒に取り組んだ部活動は良い経験になりました。

サッカー

勝った試合も、負けた試合も、全部かけがえのない思い出です。ありがとう。

野球

とても充実した3年間で、本気で野球に取り組めました。

写真

今年から校内に写真を展示しています。毎月写真が変わります。見てください！

書道

35文字でまとめられるほど私たちの3年間は薄くありませんでした。

美術

日々の活動や雑談につき合ってくれてありがとう！ゆるさ満載で幸せです！

家庭

手芸と料理の両方で活動することができて、3年間とても楽しかったです！

華道

3年間とても楽しかったし、たくさん思い出ができました。ありがとう！

茶道

優しい先生や後輩たちのおかげで、弥生祭に代わるお茶会を実施できました。

邦楽

これまで伝統を大切にしながら活動してきました。ありがとうございました。

演劇

皆と一緒にやってこれたから、たくさんの思い出が刻めたよ。ありがとう。

英語

この3年間、みんなで英語部として活動できて楽しかったです。

JRC

人々の命と健康、尊厳を守る…をもっとうにして、活動の中心は自主活動です。

音楽

音楽部は学校イチ仲良しの部活！皆と一緒に歌えて幸せでした！ありがとう！

吹奏楽

あっという間に過ぎていき、充実した3年間でした。3年生、後輩、ありがとう！

器楽

来年の全国大会頑張ってください！

電気通信

この部は1年生4人、2年生6人の計10人で、いつも自由に活動しています！

漫画研究

活動自体は少なかったけど、仲間と楽しくお絵描きができてよかったです！

ダンス

全国の舞台、本当に楽しかった！3年間ありがとう！ダンス部1番！

軽音楽

文化祭やパワーライブなどのイベントを全力で楽しんでください。

囲碁将棋

将棋は難しいですが、突き詰めるとその魅力が分かってくるでしょう。



高校改革について



令和2年3月24日、県教委より伊那弥生ヶ丘高校と伊那北高校の統合案が、初めて実名をもって示されました。

歯止めのない少子化の波や変わりゆく高校教育の中で、この上伊那地域においても高校再編をせざるをえない状況となり、平成29年に、県教育委員会から「基本構想」が示された段階から、正副会長、常任理事を中心に、関係する会議等の傍聴、参加、学習会の開催等、現状把握や課題の共有を図ってまいりました。また、その中で、将来を見据えた教育の望ましい姿を模索してきました。

この度母校が再編統合の対象となることが明らかになったことにより。同窓会としましては、今後の再編・整備計画の進め方を注視し、同窓会の関わり方、あり方等を検討し、あらたな高校づくりに積極的に関わってまいります。これからの時代を担う子どもたちが、よりよい環境で、自分らしく輝き、学ぶことができる新校、そして伝統ある二つの学校の校風が相まって、歴史を継承しつつ、新しい風の吹く素晴らしい新校が誕生するよう尽力していく所存です。皆様のさまざまなご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

県教育委員会説明資料より

再編・整備方針

EDUCATION VALLEY 上伊那

これから実施する計画

- 伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校を再編統合する。 ➡ 伊那新校(仮称)
- 上伊那地域に総合学科高校を設置する。 ➡ 上伊那総合学科高校(仮称)
- 上伊那地域に総合技術高校を設置する。 ➡ 上伊那総合技術高校(仮称)

※2021年(令和3年)に公表の「再編・整備計画【二次】(案)」で以下について示す予定
 ○総合学科高校及び総合技術高校の再編対象校
 ○定時制課程の配置

EDUCATION VALLEY 上伊那



EDUCATIONAL VALLEY 上伊那

伊那新校(仮称)

考えられる学校像の例

- 規模の大きさを活かした普通科教育の拠点
 - 地域との協働
 - 持続可能な社会の実現
- 卓越した探究的な学び
 - 大学や研究機関との連携
 - 最新の医療分野
 - 最新の学術分野

EDUCATIONAL VALLEY 上伊那

伊那新校(仮称)

考えられる学校像の例

- SDGs(持続可能な開発目標)等に基づいた社会課題を探究する学び
- 個別最適な学び及び高大連携の推進



上伊那の未来を担うリーダー、世界で活躍するリーダーの育成

◆令和元年度-事業報告◆

事業

事業名	内容
組織の充実	◇支部役員会への本会役員の出席、また7月の理事会において意見交換の機会を設けたことにより、支部の状況を把握でき、合わせて同窓会活動について意見を聞くことができた。 ◇会費制の定着を図るための資料の提供を行う等、会費制について周知徹底を図った。
情報の発信	◇会報を発行し、全会員、教職員、在校生へ配布した。 ◇特別号として『野球部の活躍』を発行し、会報に同封した。 ◇ホームページを活用して、迅速な情報の発信を行なった。
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援を行った。 ・クラブ活動助成（全国大会出場クラブ、総会協力クラブ） ・学力向上、進路実現のための支援事業（弥生塾）への助成 ・学校備品の寄贈 ◇卒業生への記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈。 ◇夏の高校野球長野県大会に出場した野球部の応援バスを野球部後援会と共に借り上げた。
高校への対応	◇県教委、地域協議会で検討している高校改革案について、状況の把握、情報や課題の共有を図り、その対応について、研究協議を行った。 ◇地域協議会へ意見提案を行った。
その他	◇講演会を開催し、母校の教育の歴史などについて学んだ。 ◇会員相互の交流と資質の向上を図るため弥生展を開催した。

会議等

- 総会1回
- 理事会2回
- 常任理事会5回
- 専門委員会11回
- その他
 - ・高校再編に関する学習会
 - ・全国大会出場クラブ激励会
 - ・高校野球長野県大会応援
 - ・PTA、学校、同窓会三者懇談会 他

令和元年度 一般会計 決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入 14,940,510円
支出 14,543,567円
差引 396,943円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	増減
1 繰越金	494,495	494,495	0	前年度より
2 会費	10,715,000	12,780,000	2,065,000	会費
3 繰入金	0	1,500,000	1,500,000	基金積立より繰り入れ
4 雑収入	505	166,015	165,510	預金利息、寄付金 他
合計	11,210,000	14,940,510	3,730,510	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	増減
1 事務費	4,210,000	3,960,294	△ 249,706	報酬、事務用品、光熱水、通信、印刷、雑費
2 交際費	140,000	112,344	△ 27,656	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	80,000	83,344	3,344	理事会他
4 旅費	100,000	84,160	△ 15,840	理事会、東京支部総会
5 事業費	4,785,000	5,392,365	607,365	総会、広報、支部活動、教育活動支援
6 広告費	250,000	238,460	△ 11,540	新聞広告代
7 修繕費	200,000	345,600	145,600	エアコン設備、会議テーブル・椅子 整備
8 繰出金	1,440,000	4,327,000	2,887,000	終身会費積立3827000円、基金積立計700000円 繰出し
9 予備費	5,000	0	△ 5,000	
合計	11,210,000	14,543,567	3,333,567	

△：決算額が予算額より少ない場合

令和元年度 終身会費積立 決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

単位：円

前年度末積立額	今年度変動額				今年度末積立額
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計	
11,262,696	*13,627,000	*2,133,000	79	1,494,079	12,756,775

- *1.本年度、終身会費として納入された金額の内、年会費（1人当たり1,000円）を除いた金額を来年度以降の終身会費として積み立てた
- *2.昨年度末までの終身会費納入者累計2,133名の年会費（1人当たり1,000円）を、本年度分の会費として一般会計に繰り出した

令和元年度 基金積立会計 決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

単位：円

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額
	積立額	取崩額	利息	計	
4,203,471	700,000	1,500,000	363	△ 799,637	3,403,834

監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

令和2年5月8日

監事 原 紀子 小林 耐子

◆令和2年度-事業計画◆

【目 標】 ◇同窓会組織および活動の充実、発展 ◇母校の教育活動支援

【活動の重点】 ① 本会、支部組織が機能、充実するために会費制をはじめとした必要な環境整備を行う
② 情報を積極的に発信する ③ 教育活動支援を行う ④ 高校再編・統合への対応協議を行う

【具体的推進事項】

活 動	内 容
組 織 の 充 実	◇会費制の定着を図るため、継続した検討、周知を行う。 ◇支部組織がより機能するための支援を行う。 ◇会運営を円滑に行うために必要となる規定や環境の整備を進める。
情 報 の 発 信	◇会報を年一回発行し、情報の提供、共有を図る。 ◇より多くの会員が興味を持てるよう、ホームページを活用し、積極的、効果的な情報の発信を行う。
会 員 の 交 流	◇講演会または演奏会等を企画し会員の資質向上を図る。 ◇弥生展を開催して、会員の発表の機会とし、あわせて会員同士の交流の場とする。
母 校 の 教 育 活 動 支 援	◇教育諸活動への支援を行う。 ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生へ記念品（卒業証書ホルダー）を贈呈する。
高 校 再 編 ・ 統 合 へ の 対 応	◇推進状況を把握し、具体的な対応について研究協議を行う。

※上記活動を次の各組織、会議を中心として推進する

- 正副会長会 ・ 同窓会業務推進等全般について検討する
- 常任理事会 ・ 同窓会活動を推進し、組織の確立を図る
・ 次の専門委員会を設置し、課題解決、効果的な活動の推進を行なう
専門委員会 ①組織委員会：同窓会組織の充実、支部組織の強化、整備、会費制の充実、整備を行う
②教養文化委員会：同窓会主催の講演会、音楽会等の企画、弥生展の企画、母校文化祭への作品出品等の企画を行う
③広報委員会：会報の発行、ホームページの整備を行う
④高校再編・統合検討委員会：県教育委員会が推進する高校再編・統合計画を受けて、迅速な動向の把握、情報収集を行い、その対応にあたる。
- 理 事 会 ・ 支部長により構成し、年2～3回開催、活動推進について協議、提言を行う
- 総 会 ・ 年1回開催し、事業、決算、予算等の承認を行う

令和2年度 一般会計 予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収 入 11,030,000円
支 出 11,030,000円
差 引 0円

収入の部

単位：円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	増 減
1 繰越金	396,943	494,495	△ 97,552	前年度より
2 会 費	10,620,000	10,715,000	△ 95,000	会費
3 繰入金	0	0	0	基金積立会計よりの繰入金
4 雑収入	13,057	505	12,552	預金利息 他
合 計	11,030,000	11,210,000	△ 180,000	

支出の部

単位：円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	増 減
1 事務費	4,090,000	4,210,000	△ 120,000	報酬、事務用品、光熱水、通信、印刷、雑費
2 交際費	90,000	140,000	△ 50,000	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	60,000	80,000	△ 20,000	各種会議
4 旅 費	50,000	100,000	△ 50,000	理事会、東京支部総会
5 事業費	4,040,000	4,785,000	△ 745,000	総会、広報、支部活動、教育活動支援
6 広告費	40,000	250,000	△ 210,000	新聞広告代
7 修繕費	20,000	200,000	△ 180,000	備品修繕等
8 繰出金	2,630,000	1,440,000	1,190,000	終身会費積立会計へ
9 予備費	10,000	5,000	5,000	
合 計	11,030,000	11,210,000	△ 180,000	

△：予算額が前年度予算額より少ない場合

令和2年度 終身会費積立 予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

単位：円

前年度末積立額	今年度変動予定額				今年度末積立見込額
	繰り入れ額	繰り出し額	利 息	計	
12,756,755	*12,630,000	*2,037,000	245	593,245	13,350,000

- ※1.本年度、終身会費として納入された金額の内、年会費（1人当たり1,000円）を除いた金額を来年度以降の終身会費として積み立てる
※2.昨年度末までの終身会費納入者累計2,037名の年会費（1人当たり1,000円）を、本年度分の会費として一般会計に繰り出す

令和2年度 基金積立会計 予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

単位：円

前年度末基金額	今年度変動予定額				今年度末基金見込額
	積立額	取崩額	利 息	計	
3,403,834	0	0	166	166	3,404,000

事業計画及び予算については、通常通り推進するものとして計画、予算計上してありますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、活動の変更や縮小もあることをあらかじめご承知おきください。

同窓会だより

それぞれの道でご活躍されている、お二人の同窓生からのお便りです

◇同窓会報に寄せて

馬場 健 (高校38回)

先日事務局の田中様から本寄稿のご依頼を頂戴した。この始まりは、3年前何十年かぶりに母校に連絡を取らせていただいたことによる。当時私は新潟大学法学部の学部長を務めており、後輩が本法学部を少しでも多く受験してほしいという思いで不躰にも筆を執った。その縁で今回の寄稿をお引き受けさせていただいた。

現在は学部長を退いて、本来の研究・教育活動に戻っているといいたいところだが、今回のコロナ禍で授業は遠隔となっている。他方、研究の方は、学部長就任前に英国で収集した資料が手つかずのままであったため、その資料と向き合っている。そもそも、高校時代、このような職業に就くとは全く想像していなかった。運・縁である。その運・縁が僥倖なのか不運なのかは本人しかわからないからこそ、なるだけ僥倖とみたいと思っている。これも高校時代の経験のおかげかもしれない。その意味で伊那弥生ヶ丘高等学校を卒業したのは、私にとっての僥倖であったのだと思う。



※馬場 健プロフィール：新潟大学法学部教授。行政学、地方自治、都市政策を専門分野とし、現在は、19世紀の英国での都市機能の拡大についての研究をすすめている。

◇残り時間

横尾 裕次 (高校49回)

弥生ヶ丘を卒業して23年、今年で42歳になります。現在はTVアニメなどの製作に携わっています。

最近「人生100年時代」という言葉を耳にすることが多くなってきました。健康寿命を80歳とした場合、私の人生というマラソンはちょうど半分を折り返したくらいようです。そんなこともあり数年前から「自分の残り時間」を意識するようになりました。

今の仕事以外にやりたい事はない？子供の時にやりたかった夢？毎年1回旅行に行っても残り38カ所？まだ沖縄や北海道にも行ったことない！など、日々自問自答していると1日1日が本当に貴重に感じます。

計算してみました。1週間168時間。仮に平日10時間働いたとして合計50時間。残りは118時間！人生の約70%が非勤務時間ということです。こう考えると、わりと勤務以外の時間ってあると思いませんか？

この70%の時間を何に使いましょう？家族や人のため、自分のために使っても良いと思います。きっと“やろう！”と思えば、何をするにせよ使える時間は充分に残っているのだと思います。

私はやってみようと思いたくさんあります。成し遂げたい目標もあります。皆さんは残りの時間をどのように使いますか？



※横尾 裕次プロフィール：CGプロデューサー。東映アニメーション株式会社 製作本部デジタル映像部で、ワンピース、ドラゴンボール、プリキュアなどアニメ製作に携わっている。

生誕 140 周年 博物学者 八木貞介展 ～3 代目校長 八木貞介先生～



植樹当時の
イチョウと
八木先生

今は…

3代目校長、八木貞介先生（T13～S8在職）の生誕140年を記念して、研究にゆかりのある信州新町化石博物館において、令和元年12月から翌年の3月までの期間「生誕140周年 博物学者 八木貞介展」が開催されました。地質、地形等自然科学の分野で多大な業績を残し、県内の文化財指定の端緒となった『史跡名勝天然記念物調査報告』の調査、報告にもかかわっています。また母校の校友会誌『友垣』にも研究内容について多くを寄稿されています。

学校の正門を入り玄関に向かう両側にあるイチョウの古木は、八木先生が学校全体の環境整備計画を立て、当時の東京帝大のイチョウ並木になって植樹されたものです。「これが自分たちの学校のシンボルだというようなものにしてやりたいと思う」と校長講話で話されたとおり、長い時を経て今、弥生ヶ丘のシンボルとなり、初夏の鮮やかな緑、そして秋には黄金色の葉と銀杏をいっぱいにつけ、学校を見続けています。



上伊那歴史研究会主催
上伊那郷土研究会協賛

令和元年度県外実地踏査

(令和元年8月7～8日 愛知県・岐阜県)

太平洋戦争末期、伊那高等女学校（現伊那弥生ヶ丘高校学校）の生徒は勤労挺身隊として名古屋に派遣され、うち一人が空襲により尊い命を落とされました。昨年8月、名古屋空襲で被災した生徒、先生方や学校の対応に関わる足跡を現地で探るといこの企画に、当事者である岸本多恵子さん（高女33回）、事務局職員の田中真奈美さん（高校34回）が参加してきました。その貴重な体験報告が上伊那郷土研究会発行の「伊那路（2019.12発行）」および「同窓会ホームページ（同窓生の声2019.9公開）」に掲載されています。

暑い名古屋での大戦の惨状が生々しく伝わってきたこと、殉職者の慰霊塔を訪れたこと等、思いが切々と綴られています。是非ご覧ください。



名古屋空襲慰霊碑



三菱航空機株式会社のシンボル、時計台

会 員 各 位

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会長 下 島 典 子

令和2年度会費納入のお願い

令和元年度同窓会費を納入いただきましてありがとうございました。

皆様からの会費に支えられ、次のような活動を行ってまいります。本会の安定的な運営と母校への支援のため、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■会報の発行 ■支部活動等の支援

■弥生展、講演会、演奏会などの開催 ■クラブ活動の助成と教育活動の支援

※母校に寄贈した備品等は別紙をご覧ください

●金 額 25,000円（終身会費） 次のいずれかの方法でお願いいたします。

- ① 25,000円を一括納入
- ② 59歳までに15,000円、60歳時に10,000円を納入
- ③ 毎年1,000円を納入
- ④ 特例措置として、次の年齢の方はこの方法で納入できます
60歳以上：10,000円 70歳以上：5,000円
80歳以上：名誉会員のため任意

●納入方法 同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。

※本年度は集金にはお伺いしません。

●納入期限 令和3年1月末までにお願います。

※コロナ禍の状況下でありますので、ご無理のない範囲でお願いいたします。



令和3年度総会のお知らせ

◆期 日 令和3年5月22日(土)

◆会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」6階ホール

◆当番学年 高校32回（昭和55年3月卒業）、高校42回（平成2年3月卒業）

※同窓生の皆様の素晴らしい交流の場となるような会にしたいと思いますので、ぜひ多くの皆様のご出席をお願いいたします。詳細につきましては決まり次第ホームページ等でお知らせします。

弥生展のお知らせ

※書道・工芸作品を展示します。

◆会 期 令和3年5月25日(月)～31日(日) ◆会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」2階 展示ギャラリー

編集後記

コロナによる臨時休校中の風景は、まるで時間が止まっているようでした。いろいろな行事が中止となり、直接会う機会がなくなりましたが、心はつながっていると信じております。

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第11号 令和2年9月1日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 下島 典子

〒396-0026 長野県伊那市西町5703

TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題 字：花岡多賀（旧姓：北林・高女36回）伊那市西春近在住

印 刷：有限会社マスマタ印刷

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 HP：<http://www.inayayai-dosoukai.com/>

